

障害のあるアーティストの社会参画と自立を応援する 「Doronko パラリンアートカップ 2026」7月15日～作品募集開始 ～「10周年記念特別賞」と「団体奨励賞」を設置。入賞作はコーヒーラベルへ～

どろんこ会グループ（本社：東京都渋谷区）は、今年も「Doronko パラリンアートカップ 2026」（主催：一般社団法人障がい者自立推進機構）のメインスポンサーを継続し、障害のあるアーティストの挑戦と社会参画を広く応援いたします。記念すべき10回目の今年には「10周年記念特別賞」を創設し、「団体奨励賞」が復活。7月15日（水）より作品募集を開始します。



昨年の中・高校生部門受賞者（中央）と高堀代表

どろんこ賞は「未就学児・小学生／中・高校生／初応募」部門

本コンテストでは、子どもたちの社会参画や初めての挑戦を広く応援するため、独自の「どろんこ賞」を設けています。対象は「未就学児・小学生部門（親子共同制作も可）」「中・高校生部門」、そして初の応募者を対象とした「パイオニア（初応募）部門」の3部門です。各部門の入賞者には、副賞として賞金3万円に加え、どろんこ会グループの子どもたちが新潟県南魚沼市の大自然の中で田植えから稲刈りまでを手がけた減農薬コシヒカリ「どろんこ米」1俵（60kg）が贈呈されます。どろんこ米は、これまでの受賞者からも「大変おいしい」と好評を博しています。



上位入賞作品は「Do coffee」の特別ラベルに

入賞作は「Do coffee」のラベルに採用し、収益を還元

さらに、上位入賞作品はどろんこ会グループの就労継続支援B型事業所が運営する「TSUMUGI CAFE 武蔵野」で製作・販売する「Do coffee」のパッケージラベルに採用。ドリップバッグ12個入りのアソートセット「Doronko パラリンアートカップ 2026 version」として販売されます。

このコラボレーションによる収益は、就労支援利用者の工賃やアーティストの収入へと還元。一人ひとりが「好き」や「得意」を活かし、誰もが自信を持って社会に参画できるチャンスを広げていきます。



左から：星野真里さん、ふうかさん、お父様の高野貴裕さん

「団体奨励賞」復活！10周年記念特別審査員にふうかさん就任

今大会では、学校や施設単位で挑戦しやすくなるよう「団体奨励賞」が復活します。同一団体から5作品以上の応募、または5名以上の合作（親子合作を除く）を対象とし、グループでの創作活動を広く応援します。

さらに、10周年特別審査員として、俳優・星野真里さんの長女で、先天性ミオパチーと闘う小学生のふうかさんの就任が決定しました。電動車いすや人工呼吸器とともに日々前向きに活動し、SNSで発信を続けるふうかさん。彼女ならではの独自の視点で選考された作品に、10周年記念特別賞「FUKA賞」が贈られます。



パラリンアートカップとは

一般社団法人障がい者自立推進機構が運営する「パラリンアート」は、民間企業や個人の協力により、**社会保障費に依存しない障害者支援**を行う社会貢献型事業です。そのパラリンアートが主催する本大会は、Jリーグ選手たちの「パラリンアートを応援したい」という声から始まりました。「**スポーツの力で障がい者の自立を応援する**」を理念に、今年度で第10回の節目を迎えます。現在はプロ野球、バスケットボール、ラグビーの各選手会へと協力が広がり、あらゆるスポーツを対象に作品を募集。**現役プロアスリートが選考にあたる日本唯一のアートコンテスト**として、多くのアーティストへ活躍の場を提供し続けています。

今年も豪華審査員ゲストが集結！スポーツ各界からエール

パラリンアートカップでは、**現役プロアスリート**による審査に加え、**スポーツ界のレジェンド**たちが一堂に会し、アーティストの皆さまへエールを送ります。

【主な審査員・ゲスト・プレゼンター（順不同・敬称略）】

- ・ **中山 秀征**：タレント／一般社団法人障がい者自立推進機構 理事
- ・ **北澤 豪**：元サッカー日本代表／日本障がい者サッカー連盟会長
- ・ **澤 穂希**：元サッカー日本女子代表(国民栄誉賞受賞)
- ・ **国枝 慎吾**：元車いすテニス選手（国民栄誉賞受賞）



上段：中山秀征さん（左）、北澤豪さん
下段：澤穂希さん（左）、国枝慎吾さん

なぜ、どろんこ会がスポンサーを務めるのか

どろんこ会グループはかねてより、障害の有無に関わらず全ての子どもが共に育ち合う「**インクルーシブ保育**」を実践してきました。さらに、全ての人が「**生きる力**」を持ってよく生きられる社会を創るため、**就労継続支援事業**にも力を入れています。

パラリンアートカップの「**障がい者の自立を応援する**」という理念に賛同し、今年度でメインスポンサー継続3年目を迎えました。誰もが自分の「好きなこと・得意なこと」を力に変えて挑戦し、**主体的に社会に関わる**ことができる未来を創るため、どろんこ会グループはこれからもパラリンアートカップを応援してまいります。



インクルーシブ保育の様子

「Doronko パラリンアートカップ 2026」イベント概要

募集期間：2026年7月15日（水）～2026年9月20日（日）

作品のテーマ：スポーツに関するもの全て

応募資格：日本国内外問わず、障がい者手帳または通所受給者証などをお持ちの方

応募方法：7月15日以降、公式サイトのお申し込みフォームよりご応募ください。【<https://doronko-paralymartcup.com/>】

各賞：グランプリ、準グランプリ、サッカー・バスケットボール・ラグビー・野球の各会の現役選手が選ぶ選手会賞、審査員賞、どろんこ賞(未就学児・小学生部門、中・高校生部門、パイオニア(初応募)部門)、10周年記念特別賞(FUKA賞)、団体奨励賞

表彰式：2026年11月18日（水）浜離宮朝日ホールにて開催予定

主催：一般社団法人障がい者自立推進機構

協賛：どろんこ会グループ

後援：文化庁、観光庁、厚生労働省、こども家庭庁(予定)、朝日新聞社

協力：日本プロサッカー選手会、日本バスケットボール選手会、日本ラグビーフットボール選手会、日本プロ野球選手会

応募受付は7月15日（水）よりスタート！

公式サイト <https://doronko-paralymartcup.com/>

どろんこ会グループについて

- 理念：「にんげん力。育てます。」
- 事業内容：保育事業、児童発達支援事業、就労支援事業、農業、研修事業、旅行事業（ほか）
- グループ内法人：社会福祉法人どろんこ会、株式会社日本福祉総合研究所、社会福祉法人愛育会（理事長 代表取締役 安永愛香）株式会社ゴーエスト、株式会社南魚沼生産組合、株式会社Doronko Agri（代表取締役 高堀雄一郎）
- 施設数：約200施設 ● 職員数：約2,900人 ● 利用者数：約10,900人（以上2026年5月1日時点）
- HP：<https://www.doronko.jp>

Doronko

【本リリースに関するお問い合わせ先】

どろんこ会グループ（東京都渋谷区渋谷1-2-5 MFPR 渋谷ビル13F）

広報部 小出 TEL：03-5766-8059 Email：koho@doronko.jp